

★加治木高校図書委員ボランティア活動報告

第10回「マヤフェスタ」 < 椋鳩十文学記念館 >
日時：平成27年7月18日(土) 10:00～12:00

児童文学者・椋鳩十氏の代表作『マヤの一生』にちなんだ「お話と音楽のつどい」が、7月18日(土) 始良市加治木町の椋鳩十文学記念館で開催されました。

この催しの支援を、ボランティア活動の一環として加治木高校図書委員の1, 2年生10名と、放送部員2名が参加して行いました。

催しの様子を、感想を交えて図書委員が紹介します。



椋鳩十文学記念館入口



会場入口にて受付



受付風景



会場入口

★「マヤフェスタ」催しの感想などを図書委員が紹介します。



- ・司会進行は、放送部員2人が行いました。

講話 久保田 里花



<講話内容> 棕先生を偲ぶお話

- ・棕鳩十さんが、とてもユーモアのある人だったということに驚いた。作品に多大な影響を与えた『ハイジ』を私も読みたくなった。
(T)
- ・どこか遠い存在だった棕鳩十さんだが普段の生活を知ることができ、より身近に感じました。(F)

挨拶



マヤフェスタ実行委員長



棕鳩十文学記念館館長

人形劇



「きつねとたぬきの化けくらべ」

- ・きつねとたぬきの掛け合いが面白くて可愛かった。(T)
- ・色々な動物の人形が出てきて、かわいらしかった。(M)
- ・最後には2匹が仲良くなってよかったと思った。(F)

エプロンシアター



「ねずみのすもう」

- ・エプロンシアターは、小学以来だったので、とても懐かしくなりました。エプロンの仕掛けがたくさんあり、びっくりしました。とても上手でした。(F)
- ・ネズミたちのために“ちからもち”を作ってあげるおじいさんとおばあさんが、とてもやさしいと思った。とてもほのぼのとして面白かった。(T)



「アンパンマン クイズ」

- ・アンパンマンのクイズもとても面白く、椋鳩十さんのこともたくさん知ることができた。(T)
- ・バイキンマンもアンパンマンも仲良くて、うれしかった。(M)

マジック



「リトル・マジック」

- ・つながっていなかった輪が、いきなりつながったりして、びっくり!! (M)
- ・とても高度で面白いマジックの数々だった。最後に2つ手品のタネあかしをしてくれたが、タネがあかされないと全く分からなかった。(T)
- ・どのマジックも面白かった。(F)

語りと音楽



「ほうまん池のカッパ」

- ・絵本と音楽のコラボレーションは初体験でした。(F)
- ・曲と話がぴったり! 語り手の声が綺麗で、つい聞き惚れてしまいました。(M)
- ・お話に音楽をつけるだけで、物語の世界がこんなにも豊かに変わるのかと驚いた。主人公のその後が気になった。(T)

朗読 (蒲生小6年生)



「白いオウム」

- ・感動する物語だった。種族を越えて仲良くなったオウムのシロちゃんと猫のシロちゃんが離ればなれになったシーンは、本当にかわいそうに思った。(T)
- ・白いオウムと白い猫の友情に感動! (M)
- ・小学生とは思えない落ち着いた大人っぽい声でした。(F)

アンサンブル演奏



曲目：「さんぽ」「風の丘」
「日本の村々」

- ・美しく響くバイオリンの音が素晴らしく、またポピュラーな曲ばかりだったので親しみやすかった。合唱も素晴らしかった。(T)
- ・知っている曲も弦楽器のアンサンブルで聴くとまたちがった雰囲気ですごくよかった。(F)
- ・有名な曲ばかりだったので、聞いていて楽しかった。(M)

★以上でプログラム終了

★会場出口で「マヤのしおり」プレゼント



- ・ご来場ありがとうございました。お帰りの祭は、気をつけてお帰りください。



- ・本校の教頭先生ご夫妻もマヤフェスタに参加されました。

会場復元作業風景



- ・展示ケースを元の場所に戻す作業は、実行委員の方々の指示に従い、慎重に作業を行いました。



- ・会場復元作業等も無事終わり、笑顔で記念写真。

★また来年のマヤフェスタを、
お楽しみに！